

# おお大勝利

令和5年度 山東サッカー部報第7号 (10月20日)

サッカー部保護者の皆様、OB・OGの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

前号は県リーグ11節明正B戦の歴史的な大敗(0対18)後のレポートでした。2か月サボりましたので、またまた一気にその後の試合等について報告いたします。

## 県リーグ2部 苦しんでの残留

**8月27日(日)**は**Y2B第12節羽黒B戦**。学校祭の最中ではありましたが、酒田まで行っての試合となる。会場は酒田市北港緑地公園。天然芝でピッチ2面取れる良いグラウンドなのですが、風雨を凌ぐ逃げ場がないのがつらいところ(海っばたなだけに、風も強い)。この日は日差しが強く、**佐竹コー千の私有物である簡易テントがあって助かった**し、バスがそのまま待機してくれたので、何かと助かった(そんなことはよく憶えている)。

試合が始まると、前節よりは試合になっている。相手の問題もあるが、守備の頑張りが目立つ。特に、3年生が引退して中心選手としての自覚が芽生えたのか、受験期の運動不足を脱して動きが戻ってきたのか、**1年DFタケハル**が(前節に続き)よく相手攻撃を跳ね返しているし、しっかり対人で競れている。そんな守備での頑張りがあり、得点の匂いはあまりしないものの、失点もせず前半終了するかと思われた。が、CKからヘディングで決められ、0対1で前半折り返す。後半も守備は安定していたが、最後まで体力がもたないというか集中力がもたないというか。故障してて先発出場を見合わせたスピードある選手を後半の後半投入するも、曖昧なプレーによるボールロストから失点してしまう。終了間際にもう一点献上して、**結局0対3の敗戦**。スコア的には完敗なもの、前節のスコアがあるので、頑張ったかのような錯覚を覚えた。ともかく、**遠方にもかかわらず、そして、前節あんなにも不甲斐ない戦いをしたにもかかわらず、熱く応援してくれる保護者に改めて感謝の念を覚えた一日となった。**

**9月9日(土)、10日(日)**は**地区新人戦**。地区によってはその前の週から大会を始めている。ですが、この夏、米沢市の中学生が熱中症で命を落とすという痛ましい事故が起き、またその余韻冷めやらぬ時期に、中学校の体育祭の練習でしたっけ、複数の生徒が熱中症で搬送されるという出来事により、山形の小中高ではかなりしっかりと暑熱対策が実施され、結局地区新人戦は大部分が中止となった。その代わりに、**今年は3年ぶりの全県トーナメントによる県新人が行われることとなった**。山東は**9月9日の山形南戦のみ**実施。その試合、私、法事で顧問の澁谷先生とコーチにお願いしたため、試合を観ていない。よって**碧キップテン**にレポートをお願いした。彼には「ユーモアも忘れるなよ」と適切な依頼をしたのですがね。以下、どうぞ。

9月9日、山形市球技場にて新人戦1回戦対山南戦が行われた。山東ベンチにすごい臭いうちがある状態で試合の幕を開けた。山東が目指すのはもちろん勝利のみ。幸先は悪く開始約30秒で失点。もちろん誰も目は死ぬことはなかった。その中チャンスが訪れた、「お兄ちゃん大好き」

**2年ヨーチャン**が相手 GK と 1対1 となる。ヨーチャンことベーツノはスライディングシュートをカマしたが、キーパーは優しくボールを包み込んだ。また、ベーツノ、この日のロングスローは過去一の飛距離であった。

最近長年のケガの呪縛から解放された **1年 KENZO** からのスローイン、のっぽの **1年リュウヤ** にボールが出る、リュウヤと正反対の **2年アユム** への絶妙なスルーパス、そのボールは元祖のっぽ **2年ショーゴ** に渡り、中へえぐるドリブルの後、中へパス。弾かれてしまうがそのボールの行方は **リュウヤ** の足元に。綺麗に抑えてシュートを打ち、得点！

しかし前半給水後、相手のゴール前へのロングボールを跳ね返すことが出来ず、失点。

前半 30 分 KENZO リタイア、投入されたのは中学で卓球部にいた **2年コンフことヒロト**！

33 分南高の綺麗な崩しで失点。

前半他にもピンチの場面があったが、キーパーびちびちの（なりたての）**1年コーキ** がしっかりと止めてくれた。ナイスキー！

1-3 で折り返し、後半開始。

後半 2 分ヨーチャンのスローイン、投げたボールは相手に取られてしまう。ハングリー精神旺盛のヨーチャンはその選手に向かってスライディング。イエローカードを頂いた！

後半給水間際、南高の FK がそのままゴール前へ。GK のキャッチミスにより失点。

後半 30 分、山東に目玉のチャンスが訪れる、2年アベチャンのプレスによりボールがゴール前へ、ソータが拾いショーゴへパスをするも、ボールが浮いていたこともありショーゴは空振ってしまう。このプレーには動画撮影者も思わず「なんでやねん」の声が漏れてしまっていた。そのままタイムアップ、新人戦は 1-4 南高勝ちにより幕を下ろした。

試合開始前にあったウンチについての興味は尽きませんが・・・ともかく、**1対4の完敗**だったようです。

**9月18日(月) Y2B 第13節酒田南戦。**ここから酒田市光ヶ丘球技場2連戦。前節も北港緑地だったので、都合酒田3連戦。酒南とは、3年生もいた1度目の対決の際、2点リードしていながら、そこから5、6点決められ、大敗している。こちらは新人チームで、なかなか勝てないでいる。ある程度、(失点の) 覚悟をして試合に臨む。

試合が始まると、まあ普通の立ち上がりながら、最近故障者多く苦しい試合展開だったのに比して、良い戦いをしている。互角の戦いができている。**特に、長らく故障離脱しており、地区新人で高校サッカーデビューを果たした1年ケンゾーがはつらつプレーをしている。**試合前「ケンゾー、今日はどのくらいできそうだ？」という問いかけに、「前半くらいですかね～」とぬるい返答をしていたが、彼のストッパー(自己防衛本能)を外すべく、顧問はできるだけ長く使うつもりだった。これで、3年サカイ、1年タケハルに続く左利きの選手が登場したことになる<sup>1</sup>。**スリーバックは右から、ハヤト、タケハル、ケンゾーと皆1年生。おまけにGKも1年生のコーキ。**前は2年生、後ろは1年生といった山東。開始5分、クロスボールのクリアが緩く中にこぼれたところを**ボランチの2年ケンヤ**が拾い左足ボレー。それがうまく枠を捉え、**先制に成功!** 良いディフェンスができていると、良い攻撃につながるものです。そして、前半17分、今度は**リュウヤ**が追加点に成功。どんな得点だったか忘れましたが、シュートが相手に当たって・・・という形だったか。その後も山東の良い攻撃

<sup>1</sup> その他に、1年にはアッキーことアキトという、左利きが控えています。

が続く。ゴールにつながらなくても、流れが非常に良い。前半 29 分、今度は**アユム**が中央で抜け出して、ファインシュートを突き刺す。**どうした山東？ 出来過ぎじゃないか！ 前半 3 対 0。**

しかし、後半、やはり相手が攻勢に出て、**開始 5 分で失点**。2 得点後に大量失点した 1 度目の対戦が頭をよぎる。「あー、やっぱり」と思っていたら・・・後半 19 分、**ショーゴ**が左サイドをスピードで抜け出して、4 点目。この追加点が大きかった。その後、ショーゴ、リューヤが追加点を上げ、**結局 6 対 1 で山東の快勝**。FW として途中交代で入った**2 年ダイキ**による、**ショーゴの 5 点目のアシストがとても良かった！** と、このように攻撃陣がさく裂したのだが、高校の場での経験の浅い山東のディフェンス陣が、個の力のある酒南の攻撃を力強く防いだことが最も大きい。**MOM(マンオブザマッチ)**は左のウイングバックで出場した**1 年アヤヤことアヤト**。つなぎ役としても、泥臭いディフェンス役としても、非常に価値の高いプレーをしていた。**故障明けのケンゾーがフル出場できたことも大きかった(やればできる)**。酒南は 1 回目の対戦と比べると中心選手が欠けており、相手の事情に山東は助けられた側面はあるにはあるが、山東の選手が攻守にわたり顧問の予想を良い意味で裏切ってくれた。惺山との 2 度目の対戦とか、この試合とか、このチームは顧問にも測りがたいポテンシャルを秘めている・・・これがコンスタントに出ればな～。

ともかく、これで、**リーグ 7 位のチームに勝ち点差 4 点以上つけたので、次節最終節を待たずに、山東 6 位で 2 部リーグ残留決定**。ホッとほしましたが、考えてみれば、シーズン前は 1 部昇格を狙っていたはず。反省しなければならぬ今年のリーグ戦ではあった。そして、**10 月 23 日(土)は降格が決まっている酒東とのリーグ戦第 14 節**。この節も顧問が都合悪かったので、**2 年生故障者ケンヤ**にレポートを頼んだ。

今日は Y リーグ最終節👉💖 前節で残留を決めてホッとしたね👉👉、でも相手はリーグ戦勝ち点ゼロの酒田東だよ👉👉 ここで負けるわけにはいかないよね！👉👉  
今日も勝って、勝ち癖つけて選手権に突き進みたいな👉👉 前半は飲水まで押されちゃったけど、もっとセーフティーに入りたかったな👉👉 先制点は飲水直後、**ヨーチャン**のゴール前での凄技ヘディングシュートで決めたよ！👉👉 追加点は負傷交代の**ケンゾー**に代わった**コンブ**が初得点！ ヨーチャンのスローインからのアシストでね👉👉  
でも終了間際に守備の連携ミスと中盤の戻りの遅れで失点しちゃった💔👉👉 でもね、コンブのゴールが超重要だったよ！👉👉  
今回の試合をピッチ外から観ている、セカンドボールの獲得率、ハイボールの勝利率、カバー率が低い気がしたんだよね👉👉 それを改善して、選手権でベスト 8 を目指したいね！👉👉

口語体のポップなレポート、色を出せないのがもどかしい絵文字の数々。**ケンヤお前もか！** 絵文字好きの親父世代をバカにしてるのか！！ とまあ、大人げないことは言わず、大人の余裕を見せましょう。ともかく、酒田東戦は苦しみながらも**2 対 1**で勝利し、結局 5 位と勝ち点差 6、7 位と勝ち点差 8 の、勝ち点 16 の 6 位で今年のリーグ戦フィニッシュ。勝ち点を倍くらい取らないと、昇格はない。来年は昇格を目指すシーズンを送りたい！

そして、いよいよ**9 月 30 日(土)から選手権大会が始まった**。今年決勝の会場の ND の関係等で、例年よりも 1 週早い開幕<sup>2</sup>。山東は**米沢興譲館**と対戦。トーナメント戦はなぜか

<sup>2</sup> それに伴い、進学校大会が選手権の前の週に実施できず、県新人後という初期の進学校大会の日程に戻

進学校との対戦が近年多い。長らく監督をされていた方が長井高校に異動されたので、フレッシュな監督に率いられている。FW に良い選手がいるようだが、この日は怪我のためか、出場してこなかった。会場は明正高校（人工芝）。

試合が始まると、山東の方が若干攻勢。スピードのあるショーゴはケガでいないが、代わりに、**腰椎分離症で長らく戦線離脱していた 2 年 DF ホストが帰ってきた**<sup>3</sup>。ケンゾーも先月くらいに復帰したのですが、彼はそもそも一度も高校の戦線に出ずに離脱していたので、「帰ってきた」という表現は似合わない。でもホストは入学以来ずっと DF として山東を後方から支えた。「**お帰りホスト**」と言っておきましょう！ 前半、**絵文字の使い手ケンヤ**が確かソータあたりとのワンツーで抜け出して**先制点**を決める。その後も山東攻勢で、興譲館はまずは守備からという作戦のよう。しかし、その守備網を今度は**2 年アユム**が抜け出し、これも記憶あやふやなのですが、左足のミドルシュートだったような、ともかくきれいにネットを揺らし、山東追加点ゲット。**アユムさん、成長したね！** 気分よく前半を折り返せると思った終盤、CK のハイボールをもたついで、興譲館の選手のヘディングのボールが、ふんわりと山東ネットに吸い込まれ、**もったいない失点。1 対 2 で折り返す。**

後半は山東押し気味ながらも、追加点を奪えなければ何かありそうな気配のある試合展開。そう、ボールを支配して、攻め続けているのとはちょっと違う。いや、だいぶ違う。結局、左サイドから崩して、こぼれたところを右サイドの**ヨーチャン**（なんかこの名前の登場回数多いなあ）が、**得意の！ごっつあんゴール！！** 何かの試合でもあった気がする。これで楽になり、**一応 3 対 1 で勝利**。興譲館からすれば、エースが欠けていたようだし、大したことない相手だったので、敗戦に納得がいかなかったかもしれない。お互い万全な状態でまたやりましょう！

そして、**翌 10 月 1 日（日）はシード校の山形明正**と明正 G にて対戦。明正は県総体 2 位で今大会は第 2 シードの強豪。もちろんこちらは胸を借りる立場。5 バックで固く守り、ボールをつながれようが、とにかく人数をかけてしぶとく守る作戦。試合が始まると、予想通りの展開ながら、序盤、ディフェンダーが大きくクリアしたボールに左サイドの**ショーゴ**が鋭く反応し、抜け出して GK と 1 対 1 になるビッグチャンス到来。利き足の右足を故障しており強行出場したショーゴは振れない右足を窮屈そうに振ったが、よく意味の分からないボレーで大きく外れる。恐らく両チーム初めてのビッグチャンスは山東がつかんだのでは。しかし、その後は圧倒的な明正ペース。ただし、明正の選手、混雑した中でもグイグイとドリブルとパスでこじ開けようとするというよりは、後ろで丁寧に回し時間かかってもいいからきっちり崩したいという様子。危険なシュートもありましたが、山東の選手のくそ粘りと、明正の選手のきれいなサッカーへの志向により、前半無失点で乗り切った。あ、そうそう、浮き球のゴチャゴチャから、**ソータ**が胸トラップした段階でゴール前 GK と 1 対 1 というチャンスあった。が、胸トラップが流れ、バウンドさせてしまい、当然勢いよくフロントダイブした GK に取られ、チャンスをふいにするシーンもあった。ということで、**前半山東のビッグチャンスは 2 回あった**。その点、後半はチャンスゼロでしたね。後半の飲水間際（後半の半分）まで粘ったが、失点してしまい、後半の後半は山東の選手が走れなくなり、いいよ

---

りました。

<sup>3</sup> 山東だけでしょうか、必ず毎年、腰椎分離症の選手が出ます。ちなみに、昨年小学校 5 年生の私の長男も、腰椎分離症で 4 か月くらい運動制限しました。何で今の子って、腰痛めるんですかね。

うにボールを回され、**結局 0 対 4 の完敗に終わる**。もちろん、この負けに何の不服もないが、1 失点目の主審の判定には首を傾げざるを得なかった。山東の選手のドリブルに明正の選手がファールをする⇒山東の選手はドリブルを続ける⇒主審がアドバンテージを取りつつ流す⇒その直後に山東の選手がドリブルし続けられなくなりロスト⇒しかし主審は展開を戻して山東に FK を与えることはせず、流す⇒「え、どうして」と山東の選手の足が止まった隙を明正の選手に突かれ失点、という流れだったが、**もちろん足を止める山東が悪いのだが、「プレーオン」というアドバンテージを取る掛け声の直後にプレーオンを解除するのは不可解**。一説によると「プレーオンにして流したが、プレーをやめてはいけない、やめたので解除した」との審判の説明があったとのことだが、**教育的な方針としては正しくても、ルールブックには支えられていない**と思われる。まあ、ともかく、順当に負けた、という一戦ではありました。

そして、今年の上東の選手権はこれにて終了。ただ、**全県トーナメントで行われる県新人でも、上東が対戦するかもしれないシード校は明正**（明正の上に上東が入ったということ）。**応援団長と掛け持ちの主将 2 年アオイ**が応援団の仕事で行けなかった抽選会に、代わりに行った**副主将の 2 年ダイキ**が引いた抽選でそのように決まったのです。選手権に出ている明正の攻撃陣は全員 2 年生。あの強力攻撃陣とまた対戦できるかもしれない幸せが上東にはあるのです。もちろんその前に、**初戦の鶴岡中央高校に勝たなければならない**。

ということで、リーグ戦、選手権の応援ありがとうございました。今シーズン最後の大会、県新人の応援よろしくお願い致します。なお、非公式大会ではありますけど、県新人の翌週（11 月第 2 週）に進学校大会があり<sup>4</sup>、その後、1 年生大会もごぞいます。応援よろしくお願い致します。

**10 月 28 日（土）県新人 2 回戦（上東の初戦） 鶴岡中央戦 @ 上山明新館高校 10:30~<sup>5</sup>**

一年生大会の初戦の日程も書いておきます。

**11 月 18 日（土）村山地区 1 年生大会 1 回戦 山形南 B 戦 @ 未定 時間未定**

## 保護者激励会 温かく実施される

**10 月 8 日（日）七日町の居酒屋まこっちゃん**にて、県新人の保護者激励会が開催されました。**顧問の澁谷先生**、そして、**コー千の佐竹、齋藤、高橋お三方**勢ぞろい。後援会からは「**我らが報道局長**」**後藤さん**が唯一参加。多くの保護者の皆様が、選手を激励して下さりました。ホテルでの激励会も良いですが、居酒屋というのも悪くないですね〜。選手もリラックスして食事しているように感じました。私は選手権の運営で遅れて参加し、皆様の興を冷まさないようにと顧問のコメントも現地で発しませんでした。2 次会に行く途中、保護者である佐竹コーチから「今野先生のコメントなかったね、結構、顧問の話を保険者期待して

<sup>4</sup> 進学校大会では、蔵王坊平に宿泊いたします。土曜日は模擬試験の日ではありますが、試合が終わった後、センターハウスにて夕方から模擬試験を開始します。

<sup>5</sup> 試合時間変更の可能性あります。その日開催予定だった明正 G が使用できないことがわかり、明新館で 3 試合実施するかもしれないからです。未定ですので、連絡を待ってください。何もなければ上の予定通りです。

いるんだよ」と言われ、その時は否定しましたが、あとで「ちゃんと話しておけばよかったなあ」と後悔。①選手による自主的な部運営が山東の伝統（起用や作戦は監督が立てるもの⇒練習もほぼ選手自らが決定）、②勉強との両立大変だけど両立は追求する価値のある課題、③出場する選手も出場しない選手もみんなで一つの目標を追い求めている、出場するだけがすべてではない、④だから保護者の皆様は我が子が出場するしないに関わらずぜひ山東というチームを応援してほしい<sup>6</sup>、⑤最近なかなか結果が出ていないけど、（高校でもなかなか出場できなかったヨーチャンのお兄さんの**ババサン**が東北大学体育会でサッカーを続けたように）大学でサッカーを続ける選手が強かった時よりも増えている、これも一つの育成の結果だと嬉しく受け止めている、⑥結果がすべてではないけど、結果を追い求める中で的人間的な成長に期待している。こんな話をしたかったです・・・遅まきながら。

ともかく、保護者の皆様ありがとうございました。また、二次会は、ラグビーの日本対アルゼンチンを観れる場所をお願いしたいとの顧問のわがままをかなえてくれました保護者の皆様、ありがとうございました。

---

<sup>6</sup> 我が子の出場や活躍を願うのは親心としてわかりますが、出場だけが価値がある、出場しないと練習が報われないという価値観はお子さんを追い詰めてしまい可哀そう。練習を含めた活動そのものを肯定して頂きたいです。